

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

入学式典号



芝浦工業大学柏中学校高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和4年4月7日

印刷所 株横浜総合写真

第24回中学校・第43回高等学校入学式

2022年度 入学式告辞

晴れて芝浦工業大学柏中学校高等学校の門をくぐられた皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から高等学校332名、中学校201名の仲間として、勉強にクラブ活動に、一緒に頑張っていきましょう。

実は、私も4月に着任したばかりの新米です。ですので、皆さんと同じように、できるだけ早く学校に馴染めるようになりたいと思っています。

今日は入学式にあたり、私が好きな詩を皆さんに贈ります。

「その時の出逢いが その人の人生を

根底から変えることがある よき出逢いを」

書家、詩人として知られる相田みつをの詩です。

自己紹介も兼ねて、この詩を紹介した理由をお話します。

私は、中学校時代の先生に憧れて、教員になろうと考え、大学では教育学部で学びました。教員になるための勉強を進める中で「社会のことも知らないまま先生になっていいのだろうか」という疑問が少しだけ湧き、「いろいろな社会のことを知ることができるのではないかと、新聞社への入社試験を受けました。就職できるかと思っていたわけではなく、少しでも雰囲気を知ってだけでもいい経験になるのではないかと、というのがその理由でした。ところが、入社試験に合格したのです。

「さあ、どうするか」

悩みに悩みましたが、恩師の先生に、こう言われました。

「新聞記者として、社会にもまれてきたらいい。教師はそれからでいい。『石の上にも3年』ということわざもある。まずは3年か5年、新聞社で頑張ってみて、『向いていないな』と思ったら、改めて教員試験を受ければいい。ただし、どんなことがあっても3年か5年は新聞社で頑張ってみて、仕事の基本だけは学んできなさい」

実は、それから35年、今年の3月まで新聞社で記者として働いてきました。これまた不思議なことですが、新聞社では教育関係の取材を約20年してきました。

教育関係の取材に携わることになったのは、「アイツは教育学部出身で教員志望だったらいいぞ」という、先輩の一言がきっかけ

校長 中根 正義



かけでした。そして、今回、ご縁があって、芝浦工業大学柏中学校高等学校で皆さんと出逢ったことになります。

伝統があり、教育でも評価の高いこの学校でやっていけるのか、私自身も不安で一杯です。しかし、相談に乗ってくださった恩師から「君は教員になりたかったんだろう。今まで培ってきたものを生かし、学校で頑張っている先生方や生徒たちと、より素晴らしい学校にしていけばいいじゃないか」と励まされました。

今、私がここにいるのは、いろいろな出逢いがあり、ここにいるということです。私の場合、中学生の頃から、教育に関心を持っていました。そして、その時々に出逢った方々からのアドバイスや導きで今があるといえるでしょう。

冒頭に紹介した詩には、別のもので次のようなものがあります。

「人の世の 幸不幸は 人と人が

逢うことから はじまる よき 出逢いを」

この詩も、これからの生活でかみしめてほしいと思います。

さて、現在、社会に目を向けるとウクライナへのロシアの軍事侵攻があり、コロナウイルスの感染拡大はいまだに出口が見えません。また、国内では、巨大地震の被害に遭われた方々など、さまざまな困難が私たちに襲ってきています。

そうした中で学校で学び、クラスメートと楽しいおしゃべりをし、勉強やクラブ活動に親しめることに感謝しながら、これからの生活を一緒に送っていきましょう。

人生に無駄なことなど一つもありません。その一つ一つが皆さんの人生に豊かな彩りを添えてくれるはずで、夢や希望を心に秘め、そして、出逢いを大切に、無限の可能性のある未来に向かって歩んでほしいと思います。そうした皆さんの思いに、私たちは全力で応えていきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆さん、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。教職員一同、皆様との連携を密にしながら学校運営を進めて参ります。御協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

目次

校長告辞 / 式次第	1 P
ご挨拶 / 歓迎の言葉 / 校歌 / 学園歌	2 P

一、閉式の辞	一、校歌紹介	一、新入生誓いの言葉	一、校長告辞	一、入学許可	一、開式の辞
--------	--------	------------	--------	--------	--------

式次第

ご挨拶

格物致知

中学一年学年主任

中学24期生201名の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。さて、新入生の皆さんはこれからの芝柏での生活を通して自律した「個」へと成長していきます。「格物致知」とは個々人が道理を究め知的判断力を高め、「個」として成熟していくことを意味しています。不安な出来事の多い昨今ではありますが、自律し成熟した「個」が集まり「創造性」と「個性」を発揮することができれば、社会の不安を解決していくことができます。入学を機に、その一步を踏み出していきます。

卒業後の理想の自分を目指して

高校一年学年主任

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員一同、心より歓迎いたします。これからの高校3年間は高校や大学卒業後の理想の自分の姿を思い描き夢の実現に向けて過ごしてください。そのために次の3つの事を心がけてください。1つ目は「高い志を持つ」こと、2つ目は「自ら考え行動する」こと、3つ目は「すぐにやる」ことです。いよいよ、チーム43期がスタートします。仲間たちと刺激しあい、切磋琢磨しながら理想の自分を目指して人間的に大きくなってほしいものです。

歓迎の言葉

新入生歓迎の言葉

中学生徒会長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎申し上げます。ここにくるまでに皆さんの努力をしてきたと思いますが、その努力の本来の目的は受験に受かることではなく、よりよい学校生活、青春時代を送って行くことだと思います。学校を作るのは生徒です。学校生活に彩りをもたせるのも自分自身です。主体的に行動し、人生に一度の学生時代を価値のあるものにできるように一緒に頑張っていきましょう。

新入生歓迎の言葉

高校生徒会長

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を心より歓迎申し上げます。新入生の皆さんは少しの不安と沢山の希望を胸に、これから始まる高校生活に心躍らせていることと思います。そんな皆さんには、ぜひ新しいことに積極的に挑戦して欲しいと思います。何事にもまずは挑戦してみなければ先のことは分かりません。失敗してもそれは経験として蓄積されます。新しいことに挑戦することで実りのある素晴らしい青春の3年間を過ごせることを祈っています。

芝浦工業大学柏中学高等学校校歌

毎日が喜び

小椋 佳 作詞
川辺 真 作曲
編曲

芝浦工業大学

学園歌

北原白秋 作詞
山田耕筰 作曲

一、緑と実り 自然の恵み

抱かれて建つ 白い学び舎

出逢う友は皆 輝く太陽のかなた

無限の宇宙へ 挑む翼を磨く

伝統を築くものたち

新しい道を拓くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

二、伸びやかな風 行く大津川

深い想いの 城址公園

集う友は皆 あふれる友情をかかえ

それぞれの夢に 熱い誓いを結ぶ

責任を果たすものたち

自由な心を抱くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

柏の青春 毎日が生きる喜び

一、朝日に輝く風と潮

雄大空あり雲は移る

仰げよ校旗の翩翻たるを

白亜の殿堂ここに聳え

われらが工学英気鍾む

芝浦芝浦われらが母校

二、世紀に脈うつ熱と理性

剛健矩あり常に鍛ふ

行へほがらに澁刺たれや

師弟の純情一に依りて

磨くにこの技に通ず

芝浦芝浦われらが母校

三、永遠に栄ゆく意志と秩序

誠実ただあり道は徹る

夢むな空理の漠々たるを

精微をきはめて事に即かば

工学日本大を成さん

芝浦芝浦われらが母校